



カトリック 小田原教会からの お知らせ

2020年5月号 No.121

小田原教会の守護聖人・幼いイエスの聖テレジア

4月30日 教会委員会発行

〒250-0011 小田原市栄町 4-6-5

TEL 0465-22-2590 FAX 0465-22-3522



5月 ちょっと一言

主任司祭 鵜飼好一

日曜日のミサが普通に行えない状況が続いています。新型コロナウイルスの感染拡大は広がっていくのか、または終息に向かうのか先が見えません。日本全国に及び緊急事態宣言の中、自宅に留まるように要請されていますが皆さんはどのように過ごされているのでしょうか。不安が募るばかりです。

ミサをはじめ、ほとんどすべての教会の集まりや教会における活動は中止になっています。教会は「神の愛を信じ、主における交わりと一致」を目指し、人と人との交わりを大切にするように常に呼びかけています。

しかし感染は人と人との交わりを通して拡大していきます。人と人との交わりを排除することによって感染拡大を止めようとしています。3密を避けるようにとか、人と人との距離を取るソーシャルディスタンスとか、会食や会話することを控えるとか…。そういった意味では教会が目指す理想的な人間関係を壊し分裂をもたらすコロナウイルスの脅威は計り知れないものがあります。

現実的にみれば私たちの日常生活は急変しました。ウイルスとの戦いは戦争に例えられてい

ます。世界的規模で医療崩壊によって多くの方々が亡くなり、ロックダウンと言われる政策で経済活動が規制され、職を失い、生活できない人々が大勢排出しています。今まで経験したことのないあまりにも大きな被害が世界中に生じています。人の命を脅かし、生活そのものを破壊するばかりでなく、さらに人間の心に及ぼす影響も甚大です。問題も多岐にわたりこれからますます増えていくでしょう。

現状を打破するため、健康と命を守るため働いておられる医療関係者の方々には本当に感謝いたします。また、このような状況下にあって新しい動きがあちこちで始まっています。人が孤立しないように、お互いに助け合い、支援する工夫がいろいろな新しい形でなされ、沢山の試みがあります。その一つはインターネットやオンラインシステムを使ってコミュニケーションをはかることです。

小田原教会でも4月から新しい教会委員会が発足し動き始めています。集会ができない現状の中で、主にメールのやりとりを活用し、情報交換をするなかで必要な問題を検討し、信徒の皆さまにどのように伝えていくか考えています。今までに無い新しい何かが生まれていくといいですね。みんなで力を合わせ、信仰のうちに希望を持って歩んでいきたいものです。

【教会委員長より】

皆様 こんにちは。今年はウイルス騒動の為当初開催予定の4月12日の信徒総会の予定も変更され、何時開くことが出来るのかもわからない状況です。本来であれば、信徒総会をもって新委員の承認を皆様より受け、晴れて新年度活動に入る予定でした。然し、ご承知のような状態である事を了解頂き、何時の間にとと思われるかも知れませんが、新委員にて活動体制に入る事をご了承願います。と言うわけで、これが最初の「委員長からひと言」となります。

まずは、旧委員の皆様、ご苦労様でした。ありがとうございました。

さて、暫くの間は教会も皆様も「冬眠状態」が続くと思われまます。外出するな、と言われれば出たくなるのが人間ですが、自分が保菌者である可能性も充分有る為、ここはひとつ教会に行きたい気持ちをぐっと抑えて「人にうつさないために」静かに息をひそめましょう。

数年後には、あんな時代も有ったね、と酒飲み話が出来る事を願っています。又、皆様の元気な顔を教会で拝見出来る事を願っています。

教会委員長 宮久保秀一

【典礼部】 祈る力を育てる部門

5月31日までミサはありません。

以降は未定です。

- ★ 教会で主日のミサはなくても、聖堂は、お祈りや聖体訪問のために開かれています。
- ★ 5月の「聖書と典礼」をマリア学院のテーブルの上に置いてあります。
- ★ 主日の朗読・福音をご紹介いたします
(ご自宅で祈って頂きますようお願いいたします)

5月10日 復活節第5主日 A年
第1朗読 使徒たちの宣教
(使徒言行録6・1-7)
答唱詩編 典礼聖歌46 ①②⑤
第2朗読 使徒ペトロの手紙
(一ペトロ2・4-9)
アレルヤ唱 典礼聖歌264
(第5主日A)
ヨハネによる福音
(ヨハネ14・1-12)

5月17日 復活節第6主日 A年
第1朗読 使徒たちの宣教
(使徒言行録8・5-8、14-17)
答唱詩編 典礼聖歌130 ①②④
第2朗読 使徒ペトロの手紙
(一ペトロ3・15-18)
アレルヤ唱 典礼聖歌264
(第6主日)
ヨハネによる福音
(ヨハネ14・15-21)

5月24日 主の昇天 A年
第1朗読 使徒たちの宣教
(使徒言行録1・1-11)
答唱詩編 典礼聖歌112①②③
第2朗読 使徒パウロのエフェソの教会への手紙
(エフェソ1・17-23)
アレルヤ唱 典礼聖歌266
(主の昇天)
マタイによる福音
(マタイ28・16-20)

5月31日 聖霊降臨の主日 A年
第1朗読 使徒たちの宣教
(使徒言行録2・1-11)
答唱詩編 典礼聖歌69 ①②③
第2朗読 使徒パウロのコリントの教会への手紙
(一コリント12・3b-7、12-13)
続唱 典礼聖歌352「聖霊の続唱」
アレルヤ唱 典礼聖歌266(聖霊降臨)
ヨハネによる福音
(ヨハネ20・19-23)

「ミサ動画で霊的聖体拝領を受けよう」

の見出しで、東京教区では毎日曜日の10:00から菊地大司教司式のミサをインターネットで映像配信しています。また、茅ヶ崎教会では、新型コロナウイルス感染症対策として、公開のミサは中止して、司祭と修道者のみの参加を原則とする非公開ミサを行っています。

以下は、そのような場合の祈りの仕方の一例です。
(茅ヶ崎教会のHPより抜粋)

教会で行われているミサに心を合わせて行う自宅での祈りの手引き

1. 心を落ち着け、祈りの準備をするために沈黙をする。神が共におられることを意識する。
2. 十字を切り、その日の典礼の集会祈願を唱える。
3. その日の聖書朗読、またはその一部を丁寧に読む。毎日のミサをお持ちでない方は「聖書と典礼」の裏表紙の〈今週の聖書朗読〉に掲載してあります。
4. 読んだ、みことばを味わい、黙想し、心に落とし込むために沈黙する。その間、特に自分の心に響いた言葉や文をよく味わう。
5. 霊的聖体拝領の準備として、全世界のキリスト者と心を合わせるつもりで主の祈りを唱える。
6. 霊的聖体拝領の祈りを唱え、主イエス・キリストを心の中にお迎えする。

霊的聖体拝領の祈り

わたしのイエスよ、
最も祝福された秘跡のうちに
あなたがおられることを信じています。
わたしはあなたを何よりも愛し、
わたしの魂にお迎えしたいと望んでいます。
いまは秘跡によってあなたを受けることができません
からせめて霊的にわたしの心に来てください。
わたしはすでにあなたがわたしの心におられるよう
にあなたを抱きしめ、わたしのすべてをあなたと結び
つけます。
わたしがあなたから離れることを
おゆるしにならないでください。アーメン。
(聖アルフォンソ・デ・リゴリ)



7. 心の中にいらしてくださったイエスの現存を味わい、そのことに感謝するために沈黙をする。また、この時に自分の心の中にある意向を神にささげてもよい。
8. 聖母マリアの取り次ぎを願いながら、アヴェ・マリアの祈りを唱え、祈りの締めくくりとして十字を切る。

「新型コロナウイルスの感染症に苦しむ世界のための祈り」は、聖堂の入口においてあります。

【総務部・庶務】

★【小田原教会の連絡網】としてE-mail連絡網を開始しています。

当面は電話連絡網との併用となりますが、E-mailでの連絡を希望される方はマリア学院に希望届用紙が置いてありますので、注意事項を確認した上で教会委員まで記入後に提出してください。

参加者には【毎月のお知らせ】をメールにて配信します。

【総務部・広報】

★皆さんは、YouTubeで4月12日(復活祭)アンドレア・ポチェッリ『MUSIC FOR HOPE』のチャリティーライブはご覧になりましたか。観客が誰一人いない中でのライブです。是非、ご覧下さい。

会場：イタリア、ミラノのドゥオーモ大聖堂より
演奏曲目：

1. 天使のパン(フランク)
2. アヴェ・マリア(J.S.バッハ/グノー)
3. 聖なるマリアよ(マスカーニ/メルクリオ編)
4. 主なる神～《小ミサ・ソレムニス》より(ロッシーニ)
5. アメイジング・グレイス(伝承曲)

